



ITOGI C&E GROUP

Casting for industrial foundation 》産業の礎に
Environment for our future 》この国の未来に

証券コード 5603

第 117 期 報 告 書

(2021年 4 月 1 日から)
(2022年 3 月31日まで)

虹 技 株 式 会 社

株主の皆様へ

平素は格別のご支援を賜りまして、誠にありがたく厚くお礼申し上げます。

さて、当社第117期（2021年4月1日から2022年3月31日まで）決算を終えましたので、事業の概況および決算の結果をご報告申し上げます。



事業の経過およびその成果

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染者数が増減を繰り返し、また、原材料や原油価格の高騰が続くなか、ウクライナ情勢などの地政学的リスクも加わり、景気の先行き不透明感が一層高まりました。

このようなもとで当社グループは、2019年度を初年度とする第6次3カ年計画に基づいて、既存事業の収益構造の改革や新たな分野の開拓、製品の開発、財務体質の更なる強化といった取組みを全社一丸となって進めてまいりました。

当連結会計年度の業績は、売上高231億1千7百万円（前期 180億6千8百万円）となりましたが、国内および中国子会社で原材料高騰分の価格転嫁に苦戦し、損益面では、営業利益1億5千4百万円（前期 2億8千4百万円）、経常利益8千9百万円（前期 3億8千3百万円）、親会社株主に帰属する当期純利益4千3百万円（前期 2億8千5百万円）となりました。

事業別の概況は、次のとおりであります。

なお、当連結会計年度の期首から、従来の鋳物関連事業に加えて、環境関連事業をもう一つの柱とすることを目的とした2021年4月1日付の組織変更に伴い、報告セグメントを従来の「鋳物関連事業」、「環境関連事業」の2区分から、「Casting Field」、「Environment Field・環境エンジニアリング」、「Environment Field・機能材料」の3区分に変更しております。

また、前期のセグメント情報は、組織変更後のセグメント区分で記載しております。

① Casting Field

鋳型は、自動車産業の好況を受け、特殊鋼用鋳型の需要が伸び、売上高は、前期を上回りました。ロールは、輸出案件がコンテナ不足による輸送遅延等の影響で伸び悩み、売上高は、前期を下回りました。自動車用プレス金型鋳物は、国内金型メーカー向けが好調で、売上高は、前期を上回りました。大型産業機械用鋳物は、工作機械および鍛圧機械向けが好調で、売上高は、前期を上回りました。小型鋳物は、機械鋳物が順調に推移しましたが、電線共同溝用鉄蓋が前期を下回り、売上高は、前期並みで推移しました。デンスバーは、主要顧客先の需要が好調で、売上高は、前期を上回りました。海外事業の天津虹岡鋳鋼有限公司、南通虹岡鋳鋼有限公司は、現地の電気自動車化の推進により、新車開発が好調に推移し、売上高は、前期を上回りました。

この結果、当事業の売上高は、192億8千4百万円（前期 152億7千万円）、セグメント利益は、原材料高騰の影響が大きく、9百万円（前期 3億2千9百万円）となりました。

② Environment Field・環境エンジニアリング

環境装置事業は、大型案件の工事が進捗したことにより、売上高は、前期を上回りました。送風機は、売上高は、前期を下回りましたが、環境・省エネ商品のトランスベクターは、半導体関連向けの需要が好調に推移し、売上高は、前期を上回りました。

この結果、当事業の売上高は、28億5千9百万円（前期 19億8千9百万円）、セグメント利益は、1億3千5百万円（前期 1億7千2百万円）となりました。

③ Environment Field・機能材料

KCカーボンセラミックスは、銅・アルミ関連が好調に推移し、売上高は、前期を上回りました。KCメタルファイバーは、自動車、鉄道、産業機械向け摩擦材の需要が好調で、売上高は、前期を上回りました。

この結果、当事業の売上高は、9億4千9百万円（前期 7億8千4百万円）、セグメント利益は、4千2百万円（前期 セグメント損失3百万円）となりました。

④ その他の事業

当事業の売上高は、2千4百万円（前期 2千4百万円）、セグメント損失は、1百万円（前期 セグメント利益4百万円）となりました。

(設備投資の状況)

当連結会計年度中において実施しました設備投資額は総額で11億1千9百万円となりました。

当連結会計年度中に完成した設備、継続中の設備で特記すべきものはありません。

(資金調達の状況)

当連結会計年度中の設備資金および運転資金につきましては、自己資金と借入金をもって充当いたしました。

(対処すべき課題)

日本経済の先行きにつきましては、新型コロナウイルスの感染者数が増減を繰り返し、原材料や原油価格の高騰が続くなか、ウクライナ危機などの地政学的リスクも加わり、先行き不透明な状況です。

素形材を主力とする当社グループは、国内鋳物事業市場の成熟化に対処するため、環境関連事業を事業のもう一つの柱とするべく送風機などを扱う機械事業部と都市ごみ焼却プラント建設を担う環境装置事業部を統合し、環境エンジニアリング事業部を立ち上げ、グループの呼称を「虹技C&Eグループ」に改めました。

また、今年度を初年度とする『C&Eへのこだわり』をキーワードとした「第7次3カ年計画」を策定し、より強固な経営基盤の構築と成長戦略の具現化のため、以下のような取組みを進めてまいります。

第7次3カ年計画

基本方針 C&Eへのこだわり

“こだわる”とは『細かな点まで気を使い価値を追求すること』

1. 重点課題

(1) 脱炭素社会に向けて

生産活動においてCO₂削減に取り組むとともに、新しいビジネスチャンスを創出する。

(2) DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進

デジタル技術を浸透させることで業務をより良いものへ変革する。

(3) 人材育成

将来に向けての安定的な基盤の構築と成長戦略の礎として技術継承を中心に人材育成に取り組む。

2. 経営目標

(1) 安定的な事業基盤の構築

既存事業での利益の増大をはかり安定的な事業基盤の構築を行う。

(2) 成長戦略の実現 ～虹技C&Eグループによる事業展開～

将来への虹技の持続的発展に向け成長戦略の実現をはかる。

このような取組みを推進し、「鋳物と環境の虹技」を定着させ、この不透明な事業環境下において、当社グループの存在感を発揮してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2022年6月

代表取締役社長 山 本 幹 雄

主要な事業内容 (2022年3月31日現在)

事業区分	事業の内容
Casting Field	鉄鋼圧延用ロール・鋼塊用鋳型・自動車用金型鋳物・デンスバー（連続鋳造鋳鉄棒）・一般鋳物製品等の製造および販売
Environment Field・環境エンジニアリング	環境関連装置・機械製品等の製造および販売・土木、建設工事の請負・ソーラー売電
Environment Field・機能材料	自動車、鉄道、産業機械向け摩擦材等の製造および販売

セグメント別売上高 (2022年3月31日現在)

区分	金額	構成比
Casting Field	19,284 百万円	83.4 %
Environment Field・環境エンジニアリング	2,859	12.4
Environment Field・機能材料	949	4.1
その他の事業	24	0.1
合計	23,117	100.0

財産および損益の状況の推移

区 分	第114期 (2019年3月期)	第115期 (2020年3月期)	第116期 (2021年3月期)	第117期 (当連結会計年度) (2022年3月期)
売上高 (百万円)	24,013	21,259	18,068	23,117
経常利益 (百万円)	1,300	372	383	89
親会社株主に帰属 する当期純利益 (百万円)	734	102	285	43
1株当たり当期純利益 (円)	221.52	30.79	86.18	13.20
総資産 (百万円)	28,563	26,720	27,810	31,247
純資産 (百万円)	12,955	12,466	13,254	13,783
1株当たり純資産額 (円)	3,139.89	3,047.91	3,257.60	3,329.99

- (注) 1. 1株当たり当期純利益は、自己株式を控除した期中平均発行済株式総数により、1株当たり純資産額は、自己株式を控除した期末発行済株式総数により算出しております。
2. 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を当連結会計年度の期首から適用しており、当連結会計年度に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。

株 式 の 状 況 (2022年3月31日現在)

- ① 発 行 可 能 株 式 総 数 8,000,000 株
- ② 発 行 済 株 式 の 総 数 3,362,163 株 (自己株式47,963株を含む)
- ③ 株 主 数 2,445 名
- ④ 大 株 主 (上位10名)

株 主 名	持 株 数	持 株 比 率
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	314 千株	9.5 %
住 友 生 命 保 険 相 互 会 社	190	5.7
虹 技 取 引 先 持 株 会	179	5.4
株 式 会 社 三 井 住 友 銀 行	148	4.5
株 式 会 社 り そ な 銀 行	105	3.2
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	86	2.6
株 式 会 社 神 戸 製 鋼 所	81	2.4
株 式 会 社 三 菱 U F J 銀 行	70	2.1
虹 技 社 員 持 株 会	67	2.0
三井住友信託銀行株式会社	60	1.8

(注) 持株比率は自己株式(47,963株)を控除して計算しております。

⑤ 新株予約権等に関する事項

- 1) 当事業年度末日に当社役員が保有している職務執行の対価として交付された新株予約権等の状況

該当事項はありません。

- 2) 当事業年度中に職務執行の対価として使用人等に対して交付された新株予約権等の状況

該当事項はありません。

- 3) その他新株予約権等に関する重要な事項

該当事項はありません。

⑥ 株 主 構 成

区 分		株主数 (名)	構成比(%)	株式数 (株)	構成比(%)
所有者別	政府及び地方公共団体	0	0.000	0	0.000
	金融機関	25	1.022	1,108,900	32.981
	証券会社	31	1.267	59,246	1.762
	その他国内法人	94	3.844	491,562	14.620
	外国人	21	0.858	20,775	0.617
	個人・その他	2,273	92.969	1,633,717	48.594
	自己名義株式	1	0.040	47,963	1.426
合 計		2,445	100.000	3,362,163	100.000
地域別	北海道地方	28	1.145	7,128	0.212
	東北地方	37	1.513	15,705	0.467
	関東地方	596	24.376	1,380,410	41.057
	中部地方	280	11.452	119,063	3.541
	近畿地方	1,082	44.254	1,542,438	45.876
	中国地方	203	8.303	147,550	4.389
	四国地方	77	3.149	44,912	1.336
	九州・沖縄地方	121	4.949	39,719	1.181
	国外	20	0.818	17,275	0.514
	自己名義株式	1	0.041	47,963	1.427
合 計		2,445	100.000	3,362,163	100.000

主要な借入先の状況 (2022年3月31日現在)

借入先	借入金残高
株式会社三井住友銀行	4,103 百万円
株式会社りそな銀行	720
株式会社三菱UFJ銀行	2,020

子会社の状況 (2022年3月31日現在)

会社名	資本金	当社の出資比率	主要な事業内容
虹技サービス株式会社	10 百万円	100 %	サービス業
南通虹岡鑄鋼有限公司	1,642 (1,500万US\$)	51	金属製品の製造販売
天津虹岡鑄鋼有限公司	871 (800万US\$)	51	金属製品の製造販売

(注) 記載の金額および株式数は、表示単位未満の端数を切り捨てております。
比率その他の数字は、表示の数値未満を四捨五入しております。

連 結 貸 借 対 照 表

(単位：百万円)

科目	期別 前連結会計年度 (2021年3月31日現在)	期別 当連結会計年度 (2022年3月31日現在)	科目	期別 前連結会計年度 (2021年3月31日現在)	期別 当連結会計年度 (2022年3月31日現在)
(資 産 の 部)			(負 債 の 部)		
流 動 資 産	15,542	19,085	流 動 負 債	11,159	13,892
現金及び預金	2,601	3,123	支払手形及び買掛金	2,716	4,239
受取手形及び売掛金	7,814	—	短 期 借 入 金	4,979	6,370
受 取 手 形	—	375	未 払 金	2,278	2,045
売 掛 金	—	8,843	未 払 法 人 税 等	29	58
契 約 資 産	—	451	契 約 負 債	—	436
電子記録債権	1,596	2,524	賞 与 引 当 金	252	255
商品及び製品	1,220	1,177	そ の 他	903	486
仕 掛 品	1,070	1,232	固 定 負 債	3,395	3,570
原材料及び貯蔵品	773	1,248	長 期 借 入 金	2,372	2,465
そ の 他	493	109	繰 延 税 金 負 債	312	302
貸倒引当金	△27	△0	退職給付に係る負債	353	478
固 定 資 産	12,268	12,161	リ ー ス 債 務	355	321
有 形 固 定 資 産	9,834	9,844	そ の 他	2	2
建物及び構築物	2,907	2,968	負 債 合 計	14,555	17,463
機械装置及び運搬具	4,158	4,229	(純 資 産 の 部)		
工具、器具及び備品	959	936	株 主 資 本	9,882	9,858
リ ー ス 資 産	389	355	資 本 金	2,002	2,002
土 地	1,220	1,220	資 本 剰 余 金	602	602
建 設 仮 勘 定	197	133	利 益 剰 余 金	7,333	7,308
無 形 固 定 資 産	229	255	自 己 株 式	△55	△55
投資その他の資産	2,204	2,061	その他の包括利益累計額	913	1,178
投資有価証券	2,119	1,990	その他有価証券評価差額金	776	682
長期貸付金	0	1	繰 延 ヘ ッ ジ 損 益	△4	△5
繰 延 税 金 資 産	1	0	為 替 換 算 調 整 勘 定	113	463
そ の 他	84	69	退職給付に係る調整累計額	29	38
貸倒引当金	△1	△0	非支配株主持分	2,458	2,747
			純 資 産 合 計	13,254	13,783
資 産 合 計	27,810	31,247	負債純資産合計	27,810	31,247

連 結 損 益 計 算 書

(単位：百万円)

科 目	期 別	前連結会計年度 (2020年4月1日から 2021年3月31日まで)		当連結会計年度 (2021年4月1日から 2022年3月31日まで)	
売 上	高		18,068		23,117
売 上 原 価	価		15,419		20,319
売 上 総 利 益	益		2,649		2,797
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	費		2,365		2,643
営 業 利 益	益		284		154
営 業 外 収 益	益				
受 取 利 息	息	0		0	
受 取 配 当 金	金	43		52	
そ の 他	他	262	306	112	165
営 業 外 費 用	用				
支 払 利 息	息	118		130	
そ の 他	他	89	208	99	230
経 常 利 益	益		383		89
税 金 等 調 整 前 当 期 純 利 益			383		89
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税		40		66	
法 人 税 等 調 整 額		△50	△10	24	90
当 期 純 利 益 又 は 当 期 純 損 失 (△)			393		△1
非支配株主に帰属する当期純利益又は 非支配株主に帰属する当期純損失(△)			107		△44
親会社株主に帰属する当期純利益			285		43

連結株主資本等変動計算書

(2021年 4 月 1 日から
2022年 3 月31日まで)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
2021年4月1日残高	2,002	602	7,333	△55	9,882
会計方針の変更による 累積的影響額			△2		△2
会計方針の変更を反映 した当期首残高	2,002	602	7,331	△55	9,880
連結会計年度中の変動額					
剰余金の配当			△66		△66
親会社株主に 帰属する当期純利益			43		43
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額(純額)					
連結会計年度中の変動額合計	—	—	△22	△0	△22
2022年3月31日残高	2,002	602	7,308	△55	9,858

	その他の包括利益累計額					非支配株主 持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	退職給付に 係る調整 累計額	その他の 包括利益 累計額合計		
2021年4月1日残高	776	△4	113	29	913	2,458	13,254
会計方針の変更による 累積的影響額						△2	△4
会計方針の変更を反映 した当期首残高	776	△4	113	29	913	2,456	13,250
連結会計年度中の変動額							
剰余金の配当							△66
親会社株主に 帰属する当期純利益							43
自己株式の取得							△0
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額(純額)	△93	△1	350	9	264	291	555
連結会計年度中の変動額合計	△93	△1	350	9	264	291	533
2022年3月31日残高	682	△5	463	38	1,178	2,747	13,783

(連結株主資本等変動計算書に関する注記)

1. 発行済株式の総数に関する事項

株式の種類	当連結会計年度期首	当連結会計年度 増加株式数	当連結会計年度 減少株式数	当連結会計年度末
普通株式(株)	3,362,163	—	—	3,362,163

2. 自己株式の総数に関する事項

株式の種類	当連結会計年度期首	当連結会計年度 増加株式数	当連結会計年度 減少株式数	当連結会計年度末
普通株式(株)	47,839	124	—	47,963

(注) 普通株式の自己株式数の増加124株の内訳は次のとおりであります。

単元未満株式の買取請求による増加

124株

3. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額等

決議	株式の 種類	配当金の総額	1株当たり 配当額	基準日	効力発生日
2021年6月25日 定時株主総会	普通株式	66,286,480円	20円	2021年 3月31日	2021年 6月28日

(2) 基準日が当連結会計年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌連結会計年度となるもの

決議予定	株式の 種類	配当の原資	配当金の総額	1株当たり 配当額	基準日	効力発生日
2022年6月28日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	33,142,000円	10円	2022年 3月31日	2022年 6月29日

連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位：百万円)

科 目 \ 期 別	前連結会計年度 (2020年4月1日から 2021年3月31日まで)	当連結会計年度 (2021年4月1日から 2022年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,093	1,027
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,102	△1,547
財務活動によるキャッシュ・フロー	△510	1,018
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	23
現金及び現金同等物の増減額	482	521
現金及び現金同等物の期首残高	2,108	2,591
現金及び現金同等物の期末残高	2,591	3,113

(連結キャッシュ・フロー計算書の概要)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益8千9百万円、減価償却費13億9千3百万円、仕入債務の増加14億3千万円による資金の増加と売上債権および契約資産の増加22億3千7百万円、棚卸資産の増加5億3千6百万円による資金の減少等により、10億2千7百万円の増加となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出15億4千5百万円による資金の減少等により、15億4千7百万円の減少となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の純増加額10億5百万円、長期借入れによる収入8億円による資金の増加と長期借入金の返済による支出6億3千2百万円、配当金の支払6千6百万円による資金の減少等により、10億1千8百万円の増加となりました。

この結果、現金及び現金同等物の期末残高は、前連結会計年度末に比べ5億2千1百万円増加し、31億1千3百万円となりました。

(注) 本事業報告中の記載金額は、表示単位未満の端数を切り捨てております。

貸 借 対 照 表

(単位：百万円)

科目	期別	前事業年度 (2021年3月31日現在)	当事業年度 (2022年3月31日現在)	科目	期別	前事業年度 (2021年3月31日現在)	当事業年度 (2022年3月31日現在)
(資 産 の 部)				(負 債 の 部)			
流 動 資 産		10,860	12,757	流 動 負 債		9,051	10,213
現金及び預金		2,435	2,888	支払手形		323	588
受取手形		390	375	買掛金		1,962	2,828
売掛金		3,532	3,863	短期借入金		3,565	3,759
契約資産		—	451	未払金		1,250	1,482
電子記録債権		1,296	1,982	契約負債		—	434
商品及び製品		1,220	1,167	未払法人税等		29	58
仕掛品		929	1,033	未払消費税等		22	98
原材料及び貯蔵品		569	951	未払費用		175	182
前払費用		48	16	賞与引当金		182	179
その他		438	28	設備関係未払金		992	551
貸倒引当金		—	△0	その他		550	48
固 定 資 産		10,551	10,184	固 定 負 債		2,748	3,156
有形固定資産		7,043	6,822	長期借入金		1,800	2,140
建物		1,201	1,157	繰延税金負債		193	158
構築物		450	472	退職給付引当金		397	534
機械及び装置		2,964	2,852	リース債務		355	321
車両運搬具		22	17	その他		2	2
工具、器具及び備品		678	655	負 債 合 計		11,799	13,369
リース資産		389	355	(純資産の部)			
土地		1,220	1,220	株 主 資 本		8,842	8,897
建設仮勘定		116	91	資 本 金		2,002	2,002
無形固定資産		15	11	資 本 剰 余 金		602	602
ソフトウェア		13	10	資本準備金		602	602
その他		1	1	利 益 剰 余 金		6,292	6,347
投資その他の資産		3,492	3,349	利益準備金		375	375
投資有価証券		2,116	1,987	その他利益剰余金		5,917	5,972
関係会社株式		1,292	1,292	配当平均積立金		68	68
長期貸付金		0	1	別途積立金		578	578
その他		84	69	繰越利益剰余金		5,271	5,326
貸倒引当金		△1	△0	自 己 株 式		△55	△55
資 産 合 計		21,412	22,942	評価・換算差額等		770	675
				その他有価証券評価差額金		774	681
				繰延ヘッジ損益		△4	△5
				純 資 産 合 計		9,612	9,572
				負債純資産合計		21,412	22,942

損 益 計 算 書

(単位：百万円)

科 目	期 別	前 事 業 年 度 (2020年4月1日から 2021年3月31日まで)		当 事 業 年 度 (2021年4月1日から 2022年3月31日まで)	
売 上	高		13,105		16,234
売 上 原 価	価		11,409		14,352
売 上 総 利 益	益		1,696		1,882
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	費		1,696		1,770
営 業 利 益	益		△0		111
営 業 外 収 益	益				
受 取 利 息	息	0		0	
受 取 配 当 金	金	94		72	
そ の 他	他	169	263	69	142
営 業 外 費 用	用				
支 払 利 息	息	34		34	
そ の 他	他	53	87	48	83
経 常 利 益	益		174		170
税 引 前 当 期 純 利 益	益		174		170
法人税、住民税及び事業税		15		48	
法 人 税 等 調 整 額		△67	△51	0	49
当 期 純 利 益	益		226		121

株主資本等変動計算書

(2021年 4 月 1 日から
2022年 3 月31日まで)

(単位：百万円)

	株主資本									
	資本金	資本剰余金		利益剰余金					自己株式	株主資本合計
		資本準備金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金			利益剰余金合計		
					配当平均積立金	別途積立金	繰越利益剰余金			
2021年4月1日残高	2,002	602	602	375	68	578	5,271	6,292	△55	8,842
事業年度中の変動額										
剰余金の配当							△66	△66		△66
当期純利益							121	121		121
自己株式の取得									△0	△0
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額)										
事業年度中の変動額合計	—	—	—	—	—	—	54	54	△0	54
2022年3月31日残高	2,002	602	602	375	68	578	5,326	6,347	△55	8,897

	評価・換算差額等			純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	評価・換算 差額等合計	
2021年4月1日残高	774	△4	770	9,612
事業年度中の変動額				
剰余金の配当				△66
当期純利益				121
自己株式の取得				△0
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額)	△93	△1	△94	△94
事業年度中の変動額合計	△93	△1	△94	△39
2022年3月31日残高	681	△5	675	9,572

(注) 本事業報告中の記載金額は、表示単位未満の端数を切り捨てております。

会 社 概 要

商 号 虹技株式会社
英文社名 KOGI CORPORATION
創 業 1916年（大正5年）12月21日
設 立 1940年（昭和15年）6月11日
資 本 金 20億271万4,707円
従業員数 450名（連結739名）

事 業 所

本 社	〒671-1132	姫路市大津区勘兵衛町4丁目1 TEL 079-236-3221
東 京 支 社	〒108-0014	東京都港区芝5丁目31-19 ラウンドクロス田町7階 TEL 03-6436-0261
名 古 屋 営 業 所	〒460-0002	名古屋市中区丸の内2丁目18-10 丸の内アネクスビル TEL 052-231-3262
北 陸 営 業 所	〒920-0027	金沢市駅西新町2丁目8-23 TEL 076-260-5501
北 九 州 営 業 所	〒802-0001	北九州市小倉北区浅野2丁目8-4 KMMビル西館 TEL 093-551-7881
姫 路 東 工 場	〒671-1132	姫路市大津区勘兵衛町3丁目12 TEL 079-236-3221
姫 路 西 工 場	〒671-1133	姫路市大津区吉美403 TEL 079-272-1301

子 会 社

虹技サービス株式会社
天津虹岡鑄鋼有限公司（中国 天津市）
南通虹岡鑄鋼有限公司（中国 江蘇省南通市）

商品構成のご案内

●Casting Field

●大型鋳物部門

自動車用プレス金型鋳物、
大型産業機械用鋳物（工作機械・射出成形機・製紙機械、他）、
鋼塊用鋳型、定盤

●ロール部門

各種鉄鋼圧延用ロール、
非鉄用ロール（ゴム・製紙・製油、他）、ラム

●小型鋳物部門

公共土木用鋳物

（グラウンドマンホール・雨水枳蓋・グレーチング・
電線共同溝用鉄蓋・化粧蓋、他）

産業用鋳物

（上下水道関連部品・鉄道関連部品・産業機械関連部品）

●デンスバー部門

連続鋳造鋳鉄棒

（材質＝普通鋳鉄、ダクタイル鋳鉄、ニレジスト鋳鉄、特殊合金鋳鉄）
（形状＝丸、角、平角、半丸、各種異形）

●Environment

F i e l d ・
環境エンジニアリング

●環境装置部門

ストーカ式ごみ焼却炉、リサイクル設備、
HAS（過熱水蒸気応用乾燥・炭化装置）、
廃プラント基板処理設備

●機械部門

KC送風機（シロッコ・ターボ・プレート・多段ブロワ・
消音装置、他）、トランスベクター、ボルテックススクーラー、
超低温空気発生装置、油とりっ子（浮上油分離回収装置）

●Environment

F i e l d ・
機 能 材 料

●機能材料部門

KCメタルファイバー（金属短繊維）


役 員 (2022年6月28日現在)

取締役社長 (代表取締役)	山 本 幹 雄
常務取締役 (経営企画部長および経理部、総務部、 IT推進部、機能材料部、開発部担当)) 谷 岡 宗
取 締 役 (海外事業部長)	松 本 智 汎
取 締 役 (デンスバー事業部、人事部、 安全環境管理部担当)) 片 桐 康 晴
取 締 役 (小型鋳物事業部長および資材部担当)	萩 野 豊 明
取 締 役 (新任) (環境エンジニアリング事業部長および 技術部、ソーラー事業グループ担当)) 梶 野 正 則
社外取締役 (常勤監査等委員)	井 口 安 弘
社外取締役 (監 査 等 委 員)	鈴 木 克 明
社外取締役 (監 査 等 委 員)	松 山 康 二

執 行 役 員 (2022年6月28日現在)

執 行 役 員 (人事部長兼安全環境管理部長)	井 上 文 男
執 行 役 員 (大型鋳物事業部長)	稲 毛 宏 二
執 行 役 員 (鉄鋼事業部長)	神 戸 隆

株 主 メ モ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
単元株式数	100株
証券コード	5603
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	大阪府中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	 0120-782-031 受付時間 9:00～17:00 (土日休日を除く)
(インターネット) ホームページURL	https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社の口座をご利用の場合は、三井住友信託銀行ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。

証券会社の口座のご利用がない株主様は、上記電話照会先までご連絡ください。

公告方法	電子公告 当社のホームページに掲載します。 https://www.kogi.co.jp/ ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載します。
------	---

上場証券取引所	東京証券取引所
---------	---------

虹 技 株 式 会 社

〒671-1132 姫路市大津区勘兵衛町4丁目1番地
TEL 079-236-3221



IKOGI C&E GROUP

Casting for industrial foundation 》産業の礎に
Environment for our future 》この国の未来に

UD
FONT

